

ベトナム歩道

連載

ベトナムの街の風景のひとつにコピー屋さんがある。「PHOTOCOPY」（時々綴りが「PHOTOCOOPY」だったりする）の看板は、街になじみ、溶け込んでいる。仕事の都合上、報告資料、調査票、参考文献など、コピーをとる必要が頻繁にある筆者は、よくお世話になる。

店に入ると、必要部数、ホッチキス止めか否か、製本化するかどうかといった依頼事項を伝える。そして、コピーが出来上がるまでの間、店のプラスチック椅子や、店と歩道との段差などに座って待つ。時間がない場合には、店の人と少し交渉してピックアップの時間を設定する。

証明書や授業の資料のコピーなどを頼みに来る個人客・学生だけでなく、会社・組織で用いる配布資料のコピー依頼もある。会社・組織にとっても、自前のマンパワーで大量に書類を印刷し、きれいに整えたり、製本化したりする手間暇、費用を考えれば、プロの技できれいに仕上げられるコピー屋さんには仕事を頼むコストは、許容範囲なのだろう。筆者の経験ではコピー一枚を頼むと一〇〇〇ドン（ドル）約二一〇〇〇ドン）だったりするが、枚数が増える

とコピー一枚五〇〇ドンなど、価格が下がる。初めて筆者がベトナムのコピー屋さんに行ったのは、約一五年前、ハノイでのことだった。店を経営していたのは、夫婦そろって人懐っこい笑顔が印象的なナムさん夫婦。ナムさんは小柄で既に中年の域に達し、鼻下にチョビ髭を生やしていた。奥さんは童顔で、年の差夫婦にみえた。夫婦には幼い一人娘がいた。

店の場所は一八世紀後半にグエン・フエ（一七五三〜九二年）が清の大軍を打ち破ったハノイ市ドンダーの地にあった。近くにあるドンダー文化公園には、グエン・フエの巨大な像が

立ち、二〇一四年二月四日には戦勝二五周年の式典が行われている。

同店のスペースは二畳を少し超えるぐらい。白地に赤字の看板が店前に立っていた。当初はコピー機一台とプラスチック椅子がいくつか置いてあった。店の奥の家屋に住む家主から間借りしており、家賃が高いとナムさんはこぼしていた。筆者が店に通い始めてしばらくすると、ナムさん夫婦は中古コピー機を一台追加し、店内はすれ違うのも難しい空間となった。お客さんも来ており、店は繁盛しているようにみえた。しかし、若干のインターバルの後コピーを頼みに行くと、店が閉まっている。バイク修理店の青年は、ナムさん夫婦が店を引っ越したという。後日、自転車で帰宅途中にばったり会い、互いに手を上げて挨拶したが、ナムさんの自転車は色とりどりのバイクの海にすぐ飲み込まれていった。以降、筆者のコピー屋さんに対するイメージの原点は、ナムさん夫婦の店にある。

あれから一〇年を超える歳月が流れ、街のコピー屋さんの様子もかなり変わった。例えば、二〇一三年三月末から二〇一四年三月末まで滞在したハノイ市で何度か通った自宅近くのコピー屋さん（三〇代ぐらいの顔がよく似た男女二人により営まれていた。筆者は姉弟と想像していた）。開店から時を経て、少しぼやけた黄地に赤字の看板が醸し出す店の雰囲気は、ナムさん夫婦の店とどこか似ていたが、コンピューター二台とそれらに繋がれた印刷機二台、コピー機一台という設備構成であった。

同店では書類のコピー、製本化だけでなく、コンピュータを用いたサービスも提供していた。そして、雑然としたショーケース内には封筒やいくつかの文具が置いてあり、その販売も仕事のひとつにしていた。名刺の作成・販売、証明書のプラスチックによるコーティングも守備範囲であった。

コンピュータによるサービスはさまざまである日、コピーをお願いしに行くと、女子学生が店のコンピュータ前に陣取り、論文をきれいに整えて印刷しようと、店の人から指導を受けながら作業に取り組んでいた。年配のおじさんは、名簿作成を依頼し、コンピュータ画面を指さしながら、指示を出している。店の人は滑らかにキーボードを操作し、その要求を画面に反映させていた。また、別の日には、若い女性が店のコンピュータでメールをチェックしている。応答を終えると、女性は数千ドンを支払い、バイクで去った。

土地は変わるが、最近ホーチミン市内で通うコピー店は、コピー機六台、製図印刷機二台、コンピュータ五台という設備構成である。若いユニフォームを着た店員が、注文を受けた仕事を黙々とこなしている。ハノイ市内にも類似の店はあるが、こうした店は筆者のコピー屋さん原イメージを離れて、「組織」を感じさせる。

ベトナムの街のコピー屋さんにもIT化を基本とする変化の波が及んでいる。コンピュータの使用に通じていなければ、顧客の多様なニーズに応え、経営を維持していくことが難しくなっている。

ナムさん夫婦の店も、成長した娘さんに促され、今頃コンピュータを導入しているのではなかろうか。

（つらもと みのる／アジア経済研究所 在ホーチミン海外調査員）

※隔月で掲載いたします。